

# すさきSATガイドマップ

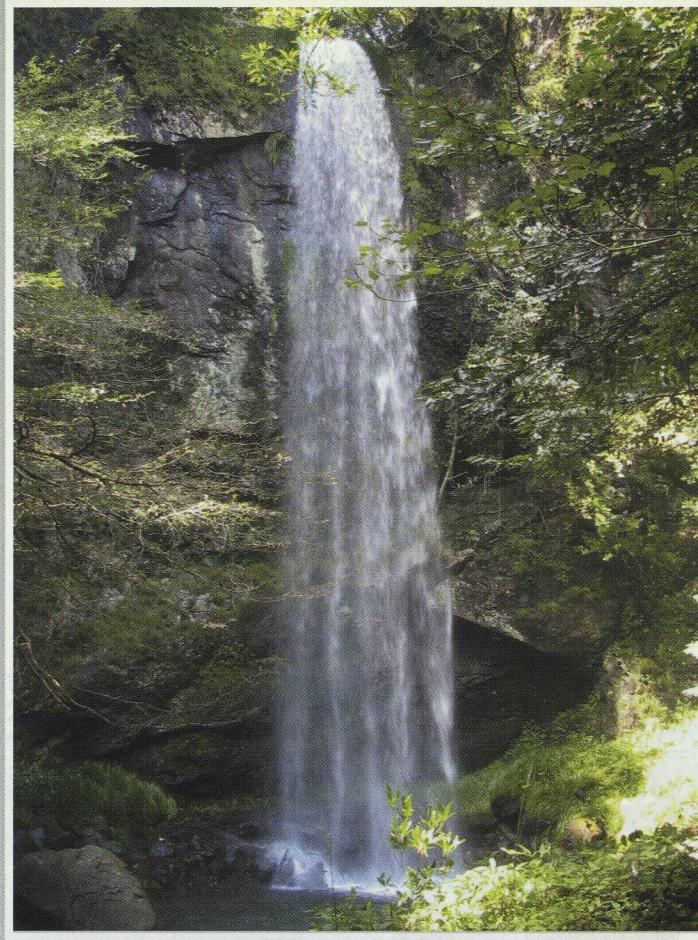


# すさきSAT構想推進委員会

事務局 〒785-8601  
高知県須崎市山手町1番7号  
須崎市企画課  
TEL 0889-42-5691

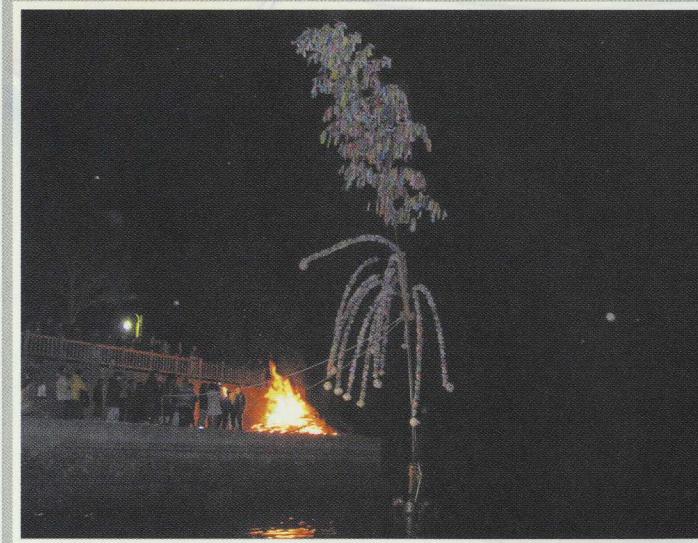
平成20年3月発行

この地図はイメージ図であり  
実際の地形とは異なります。



## たるたき 樽の滝

新莊川の支流、上分地区にある高さ37メートル、幅6メートルの滝。うっそうと茂る自然林に映える神秘的な滝の姿を間近で見ることができる。県立自然公園に指定されている。



## のみしお 野見潮ばかり

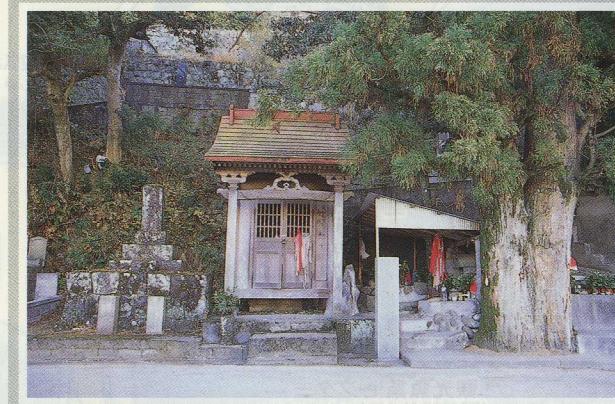
「高知県保護無形文化財」及び文化庁の「記録作成等の措置を講すべき無形文化財の選定」に指定されている祭りで、神様である竜神にその年の大漁と集落の繁栄を祈り、旧暦1月14日の深夜に行われる。五色の短冊を飾った高さ15メートル余りの淡竹が集落の中央に立てられる。淡竹は、夜になると木やり噴に合わせて若者達によって悪霊鎮めの地搗(じつき)をしながら浜辺まで運ばれ、干潮時に沖に立てられる。後日、その竹が沖方向に倒れると大漁、岸方向に倒れると豊作の年になると言われる。



## ゆきわりざくら 雪割桜

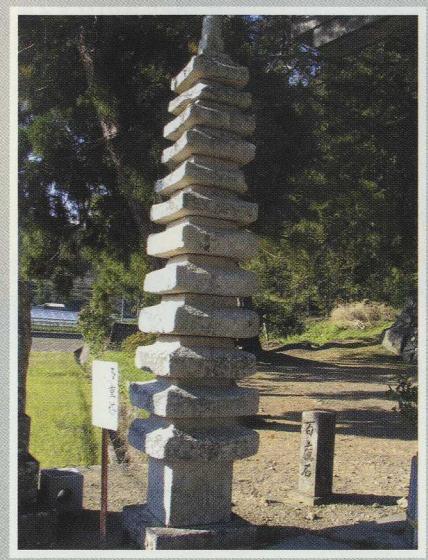
蟠蛇森のほぼ中腹には、濃い桃色の美しい花をつけることで有名な「雪割桜」が咲く。2月中旬から3月中旬ごろまでが見頃で市内外から見物客が訪れる。山全体には1,000本近くある。

地元では「雪割桜」と呼ばれているが、正式名称は「ツバキカンザクラ」(椿寒桜)で、シナミザクラとカンザクラまたはカンヒザクラの雑種と推定されている。今から70年ほど前に松山市から分けてもらって台木に接ぎ木したといわれがある。



## うまじんじゃ お馬神社

「お馬と純信恋物語」は全国的に有名で、よさこい節の主人公として唄われている。お馬は、安政3年(1856年)再放逐により須崎の庄屋に預けられ池ノ内で生活し、その後大工の寺崎米之助と結婚する。糺町に転居の後、明治18年に子供を頼って上京する。お馬神社は、縁結びの神様として池ノ内にある二股杉の下に建てられた。



## かもじんじゃ 賀茂神社 やおびくに 八百比丘尼の多重の塔

賀茂神社の境内には、石造塔がある。梵字(ほんじ)の彫りや屋根の反りの特徴から鎌倉時代に造られ県下最古のものである。(高知県保護有形文化財)。秋祭りには、頭を鳥毛で飾った少年たちが太刀踊り(花取踊り)を奉納する。(高知県保護無形文化財) [秋祭り10月20日]



## おとなしじんじゃ 鳴無神社

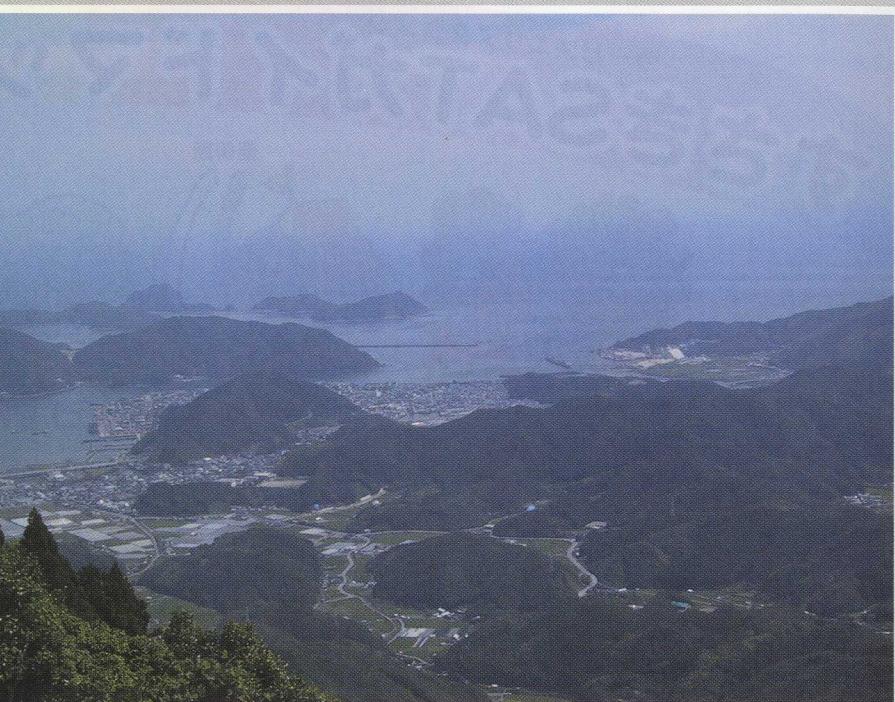
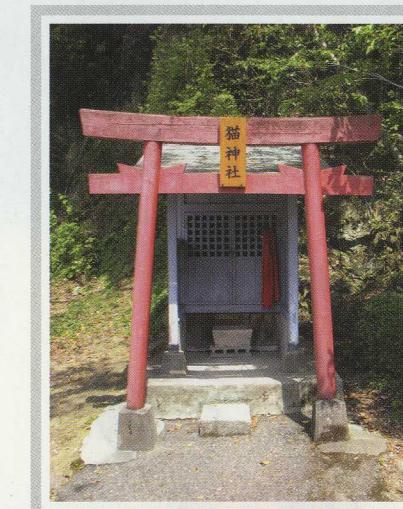
横浪三里の入り江奥の鳴無地区にあり、鎌倉時代(建長3年)の創建と伝えられている。本殿は春日造りで国の重要文化財に指定されており、天井には美しい天女の姿が描かれている。夏祭りには優雅なお舟遊び、秋祭りには古式行事が見られる。

[夏祭り8月24・25日／秋祭り旧暦8月23日]



## とさはんぽうだいあと 土佐藩砲台跡

幕末の異国船渡来により、海岸防備のため須崎にも三箇所の砲台を築造した。そのうちの一つが西浜公園として残され、国の史跡に指定されている。慶応3年(1867年)には長崎で水夫殺害事件が起り、イギリス公使パーカスが須崎に軍艦で入港してきた。土佐藩との外交交渉が持たれ、龍馬も神戸より入港し、船上で交渉を見守った。

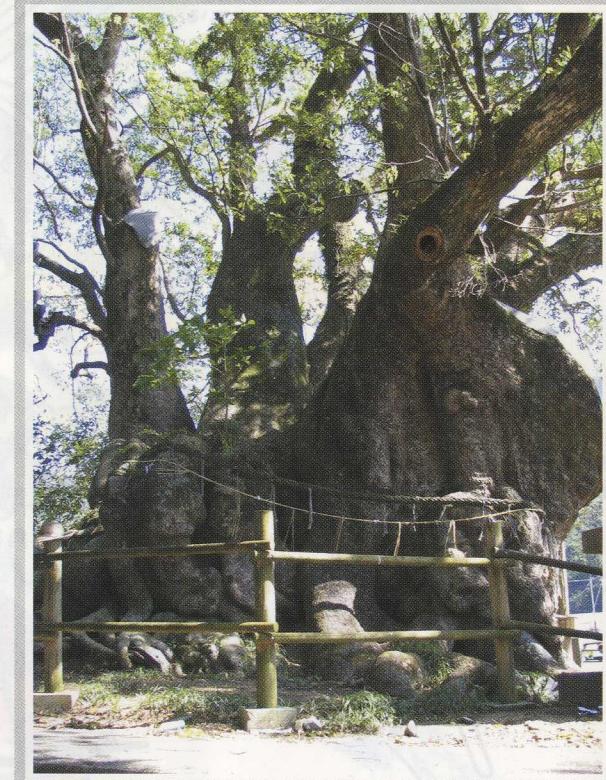


## ばんだがもり ちょうぼう 蟠蛇森からの眺望

須崎市の北境にそびえる標高769メートルの市内で一番高い山で、周辺は県立自然公園となっている。

頂上まで自動車道が通じてあり展望台からは、北に石鎚山を主峰とする四国山脈、眼下には須崎湾と横浪三里の雄大な景色をみることができる。

この付近には、つつじ(4月中旬～5月下旬)、春りんどう(4月下旬～6月上旬)、秋りんどう(10月下旬～11月中旬)が咲く。また、ふもとには温泉がある。



## おおたに 大谷のクスノキ

須賀神社境内にそびえる推定樹齢2,000年を誇る四国最大級のクスノキ。根元の周囲約25メートル、樹高約25メートルの大木で、大正13年に国の天然記念物に指定されている。また、主幹の空洞には楠神様がまつてあり乳幼児の成長や健康祈願に訪れる人も多い。